

防災地図の改定及び全戸配布について

1 目的

今年度、東京都による広域避難場所の見直し等が行われ、更新された情報を「品川区防災地図」に反映して全戸配布することで、区民に対して最新の情報提供と普及・啓発を行う。

2 改定のポイント

- (1) 広域避難場所の見直し、風水害避難場所等の更新
- (2) 防災地図と各ハザードマップをA4冊子として一体化
- (3) 情報学習面の追加
- (4) 災害ごとの地図を作成し、必要な情報を掲載
- (5) インデックスの追加

3 掲載内容

- (1) 情報学習面：ハザードマップの使い方（地震・風水害）、災害に備える
- (2) 地図：地震マップ、ハザードマップ（浸水・高潮・多摩洪水・土砂）

4 全戸配布

- (1) 送付状
- (2) 品川区災害廃棄物ハンドブック
- (3) 品川区防災地図

※予定数は約23万世帯と未受領申告者への配布を想定

5 今後のスケジュール

- (1) 令和5年1月中旬より印刷・封入業務開始
- (2) 令和5年2月下旬～3月下旬にかけて全戸配布
※配布にあたっては広報しながわ等で周知予定

防災地図の改定及び全戸配布について

別紙

1. 改定目的

東京都による広域避難場所の見直し等更新された情報を「品川区防災地図」に反映し、区民に対して最新の情報提供を行い、普及・啓発する。

2. 品川区防災地図の改定

主な改定ポイントと工夫

◎広域避難場所の見直し、風水害避難場所等の更新

◎防災地図と各ハザードマップをA4冊子として一体化

⇒既存の防災地図は土砂ハザードマップが分離していたが、1冊に一体化することで区が公表しているすべてのハザードマップが1冊で確認でき、利便性を向上

◎情報学習面の追加

⇒地図を読むうえで用語や避難行動等を地震と風水害を並立して説明し、「災害時」だけでなく、災害に備えるための情報も記載

◎各災害ごとに地図を作成し、必要な情報を掲載

⇒災害ごとに地図を作成し、開設される避難場所、浸水災害であれば土のうを掲載する等必要に応じた情報を掲載

◎インデックスの追加

⇒住所から町会・自治会、区民避難所が確認でき、地図上の該当ページを掲載することで確認したい情報ページを素早く開くことが可能



表紙



情報学習面



インデックス



マップイメージ

3. 品川区防災地図掲載内容

- ・ハザードマップの使い方 ・マップインデックス ・地震マップ・浸水ハザードマップ
- ・高潮、多摩洪水ハザードマップ ・土砂ハザードマップ
- ・災害に備える（マイ・タイムライン、情報収集等）

災害の時だけ取り出すのではなく、常にご家庭の目に届くところに置いていただき、日頃から災害について見返し、いざという時に使っていただきたく作成

4. 全戸配布

(1) 以下3点の全戸配布を行う

- ・送付状
- ・品川区災害廃棄物ハンドブック
- ・品川区防災地図
- ・配布予定数：約23万世帯 + α（未受領申告者）

(2) 災害廃棄物ハンドブック

- ・令和3年度に作成した災害廃棄物ハンドブックを防災地図の全戸配布に同封する。
- ・廃棄物処理について周知することで災害時の分別について区民に対しご理解と重要性の普及・啓発を行う。

封入イメージ



表の見え方

裏の見え方



5. 今後のスケジュール

- ・令和5年1月中旬より印刷・封入業務開始
- ・令和5年2月下旬～3月下旬にかけて全戸配布
- ※配布にあたっては広報しながわ等で周知予定